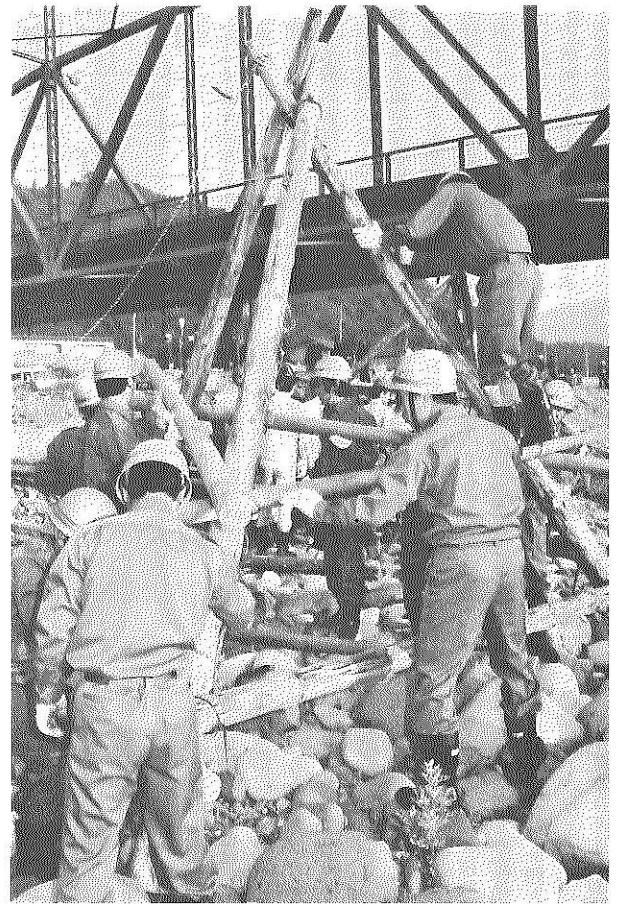


人		(57. 7. 1現在)
男	女	204人
15,	16,	016人
計		31,220人
世帯数		7,765



▲水防訓練でわく入れ工法に取り組む消防団員

ふだんから防災体制づくりを

梅雨時、特に梅雨末期の日本列島は集中豪雨の恐怖にさらされています。イザというときに備えて、日々から防災体制づくりなど話し合いましょう。

油断大敵——雪害やがけくずれなどに備えるために必要なのは、何といっても心の準備です。

市でも日ごろ、水災発生のおそれがあると認められる河川やがけくずれの危険箇所を常に把握し、その状態などを調査して必要な措置をとるよう努めています。

そして、集中豪雨などで水災が発生した場合は、すみやかに対処できるよう万全の体制をとっています。

その基になるのが市の水防計画です。水防計画には、そのた

連続的大雨が降って洪水警報などが発令されたりすると、この水防計画に基づき、水防上必要な活動を始めます。

市民のみなさんは、水災に対する心の準備をするうえで、まず、自分の住んでいる地域の特

性を知ることがたいせつです。地理的にはどんな特徴がある

か、どのような災害が起こりやすいか——など家族の人や近所の人たちと話し合つておくのもよいでしょう。

また、イザという場合の避難場所や避難経路を確認しておくこともたいせつです。

市は、河川のはんらんやがけくずれなどにより、著しく危険が切迫していると認めるときは、市民のみなさんに避難のため、立ち退きを指示します。避難立ち退きの指示は、水防信号や口頭などでお伝えします。

避難の水防信号は、サインが三秒間鳴り二秒間止まる、ま

た三秒間鳴り二秒間止まるとい

う繰り返します。よく注意をして聞いてください。避難、立ち退きの伝達があったときは、すみやかに誘導者の指示に従つて行動してください。

早朝の水防訓練 テキパキと

台風、梅雨による出水に備えて、六月三十日の早朝、九頭竜川左岸、勝山橋上流で水防訓練が行われました。

水防訓練は「大雨洪水警報の発令中に、堤防に亀裂が生じ、

決壊のおそれがある」との想定

で行われ、市消防団、市消防署、市関係や日赤奉仕団、勝山支部および北陸電力株式会社のみなさん約二百二十人が参加しました。

午前五時、サイン吹鳴とともに各地区から出動、訓練を開始しました。

訓練は洗掘防止のためのわく入れ工法や木流し工法、越水防

止の積み土のう工法、漏水増大

を防ぐ月の輪工法を、消防団のみなさんがそれぞれ分担、丸太をわくに組む者、土のうをつくる者と、テキパキすすめました。

日赤奉仕団のみなさんは、米をナイロン袋に入れ、それを大きなかまで蒸す、たき出し訓練をしました。

ことし、初めて参加した北陸電力株式会社のみなさんは、停電になつたことを想定し、作業車で出動、すばやく仮電柱を立て、近くのトランスから電気を引く訓練を行いました。

「姿なき台風」の脅威——集中豪雨量2枚にドラムカン18本

気象庁が、今までに記録した集中豪雨一日の最大雨量は千百九、二ミリという驚異的なもので、昭和三十二年に長崎県諫早市で起こりました。

ところで、一時間に四十一、五十分以上、二十四時間で二百ミリ以上

の雨が降れば普普通、「集中豪雨」といえましょう。

た、一日の雨量が年間雨量の一〇%以上になった場合もこう呼べます。わが国の年間降水量(平均)は千五、六百ミリですから

に驚くべき数字です。

豪雨に対する心がまえ

いつたい何ミリの雨が降ったら危険か、ということは概ねいません。一時間三十ミリでも川があふれたり、反対に三十分以上降っても大丈夫などころもあります。

したがつて、自分が住んでいる場所の特性を正確につかんでおくことがたいせつです。

大水が出やすい、土砂くずれが起りやすいといった知識が、イザというときに非常に役立ちます。

雨の強さや量を簡単に知るには、雨の音に耳を傾けることであります。トタン屋根にあたる雨の音

は、雨の音に耳を傾けることであります。トタン屋根にあたる雨の音

で判断すると、よく聞こえるといた感じは一時間五十五ミニ程度だそうです。雨の音で部屋の中のおたがいの声が聞きとれないとときは十一二十三ミリ。ドシャ降りで側溝などがたちまちあふれるときは二十一二十三ミリと考えたらまず間違はないあります。もし、危険な状態に陥つたら避難する準備が必要です。夜間や停電に備えて、懐中電灯やトランジスタ・ラジオは用意しておきましょう。

意した方が賢明です。山すそやガケの近くに住んでいる人は、特に雨の降り方を監視することです。

カミナリは集中豪雨の警報として、特に気をつけなければなりません。

雨の降り方が激しく、災害が起きやすいところに住んでいる人は、十分な注意が必要です。

カミナリは集中豪雨の警報として、特に気をつけなければなりません。

雨の降り方が激しく、災害が起きやすいところに住んでいる人は、十分な注意が必要です。

カミナリは集中豪雨の警報として、特に気をつけなければなりません。

雨の降り方が激しく、災害が起きやすいところに住んでいる人は、十分な注意が必要です。

雨の降り方が激しく、災害が起きやすいところに住んで

